大津市の小学生のみなさんに【低学年用】

平成27年6月
大津市教育委員会

あたらしいなかまや先生には、もうなれましたか。
いっしょにすごしているなかまのかおを見ながら、みなさんにかんがえてほしいことがあります。
「いじめ」についてです。きついことばをいう、からかう、たたく、ける、らくがきをする、ものをかくす、なかまはずれにする、かげ口をいうなど、いじめにはいろいろあります。たとえあそびはんぶんや、かるい気もちでしたことでも、あいての子はきずついています。そのときはわらっていたとしても、心の中ではふかくきずついていることもあります。**そして、いじめによって心やからだがきずつくだけでなく、たいせつな命をうしなうこともあるのです。**
まず、みなさんは、いじめるがわや、見て見ぬふりをするがわにならないでください。そのためには、いじめをうけているがわの気もちにたって、まい日つらい思いをしていることをかんがえてください。はんたいに、あたたかいことばかけや、たすけ合いがひろがれば、みんながあんしんできる、すてきななかまになっていきます。友だちやグループ、クラスで、あんしんしてすごしたいとねがう気もちは、みんなおなじです。力と心をあわせて、いじめのない学校にしていきましょう。
先生たちもみなさん一人ひとりのたいせつな命をまもるため、「いじめはぜったいにゆるさない」という気もちをつよくもって、いつも見まもっています。もしもあなたがいじめをうけるがわになって、こまったときやしんぱいなときには一人でかかえず、すぐにそうだんしてください。あなたの気もちをうけとめます。先生といっしょにかんがえていきましょう。

「みんなの安心」につなげよう

（　　）友だちや先生とあいさつをしていますか。
（　　）あたたかいことばをつかって話していますか。
（　　）じぶんがされていやなことを、だれかにしていませんか。
（　　）友だちのいいところを見つけようと心がけていますか。
（　　）むやみにうわさをひろげたり、しんじたりしていませんか。
（　　）みんなできめたことや、学校のきまりをまもっていますか。

もしも先生や友だちに話しにくいときには、でんわそうだんもあります

そうだんさき	でんわばんごう	じ　か　ん
おおつっこ ほっとダイヤル	0120-025-528	月～金（火よういがい）　午前9時～午後5時 火　午前9時～午後8時
子どもナイトダイヤル	077-523-1501	毎日（夜間）　午後5時～午前9時
大津市教育相談センター	077-525-7912	月～土　午前9時～午後5時
大津少年センター	077-522-3721	火～日　午前9時～午後5時
堅田少年センター	077-573-9000	火～土　午前9時～午後5時

おおつっ子

みんなのいじめ防止行動宣言
～いじめゼロへの小さな勇気～

いじめたり、いじめられたり、それを見ているだけだったり、そんなことが起きないような、楽しい学校生活を過ごしたい・・・これは、学校に通う私たちの共通の願いです。

いじめをなくすには、どうしたらいいのでしょうか。私たちはこれまで、学校での様々な取り組みのなかで、考え、話し合ってきました。

いじめをなくすための明確な「答え」はないかもしれません。けれど、少しでもその「答え」に近づけるよう、日頃から私たち一人ひとりが意識を持ち続け、普段の行動で示すことが必要だと思います。

私たちは、各学校でそれぞれ取り組んだ「思い」や「ことば」を持ち寄り、人が、いじめたり、いじめられたり、それを見る立場になったとき、それぞれの視点から、行動するべき内容を宣言文として定めることにしました。

宣言文は、「い・じ・め・な・し」の５文字から始まる文章とし、私たち中学生だけでなく、大津市民みんなにとっての宣言とするため、小学生でも理解し、行動に移せるものとしました。

い　いやなことがあったら、どんな小さなことでも誰かに話してみよう。

たとえ小さなことでも、自分が「いや」と思えば、それは、いじめかもしれません。もしかしたら、いじめに発展してしまうかもしれません。そんなことにならないように、勇気を出して誰かに話し、少しでも楽になってほしい、そしていじめをなくしていきたい、という思いを宣言にしました。

じ　自分から相手の気持ちを考え、思いやる心を持とう。

いじめは、誰かが「いじめ」という行動を起こさなければ始まりません。もし「いじめ」をしようとしたとき、相手の気持ちを考え、思いやる心を持つことで、それが「いじめ」であることに気付き、行動を起こす前にやめてほしい、という思いを宣言にしました。

め　目の前のつらそうな人を見逃さず、自分にできることで友だちを守ろう。

いじめている人、いじめられている人だけではなく、周りで見ている人も、いじめに関わっています。見て見ぬふりをするのではなく、目の前で助けを求めている人に対し、小さなことでもいいから、自分にできることをすることで友だちを守ってほしい、という思いを宣言にしました。

な　なにげない素敵な行動で仲間の笑顔を広げていこう。

いじめを起こさないためには、周りの雰囲気づくりも大切です。大津の子どもは、みんなが仲間であり、そのなにげない素敵な行動が、仲間の笑顔を広げることにつながります。そうして、いじめを起こさない雰囲気をつくっていきたい、という思いを宣言にしました。

し　信じあう気持ちと小さな勇気を支えにして、私たちの手でいじめのない大津にしよう。

将来を担う私たち自身が、互いに信じあい、たとえ小さくても勇気を持って、これらの宣言を普段から意識して行動に移していくことで、いじめのないまち、大津をつくっていきたい、という思いを宣言にしました。

この宣言文は、市民一人ひとりが普段から意識してこそ、行動につながり、いじめの防止につながります。

この大津で、いじめに悩む子どもたちがいなくなるよう、この宣言文に記した「ことば」を心におき、しっかり行動に移していきましょう。

平成26年10月

＜平成26年度いじめ防止啓発月間（10月）子どもフォーラム開催に向けての子ども検討会議参加中学生一同＞